

優秀賞

住宅の部

建築主：西川 岳男
設計：株式会社 田井勝馬建築設計工房
施工：株式会社 小島建設
所在地：富津市

日常から明日への活力を求めた空間

富津リゾートセカンドハウス



建物形態が日常を離れさせ、潮風等を軽減させる。

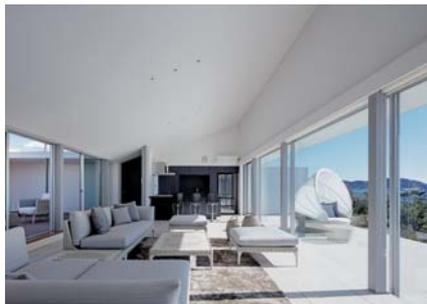
計画地のある富津市は東京湾に面して、対岸に横浜から横須賀、その先は富士を眺むことができる抜群の眺望である。横浜方面からはアクアラインを利用すると驚くほど短時間で移動ができること、計画地からは道路などの障害なく海が見えることが敷地選定のポイントとなったようだ。日常から離れた週末のセカンドハウスである。

建築主の主な要望は『非日常で心から寛げるリゾートセカンドハウスである』『どこからでも愛車を眺められる』『メンテナンス性が良く耐久性に優れている』ということである。建物への車のアプローチは前面道路から海へと真っ直ぐに延び、高揚感とともに自然と非日常へと誘導される。到着は穏やかな内房の海を臨むリビングとアウトドリビング(=中庭)に位置する車庫であり、そこで人と愛車が空間共有できる仕掛けとなっている。メンテナンス性については、外部擁壁と内勾配屋根のコの字型プランの採用により、海の方に視界を開放しながら、潮風を制御し、中庭への陽射し

を確保した。一見、RC造のようであるが木構造でコストを抑えながら、外装は清掃性と耐久性の良いサイディングの採用により、砂や潮を水で簡単に洗い流せるように配慮している。

この空間は建築主にとって最高のセカンドリゾートハウスであり、自然から明日への活力を得る空間としてまとまっている。

一方で外部から見ると完全に切り取られた空間となっていて、隣家とのつながりや人気がないことに寂しさを感じた。今後海岸沿いの分譲地が富津市の活力となって発展することに合わせて期待したい。(藤本 香)



穏やかな内房の海を臨むリビング



リビング・テラス越しに海を愛でる

(撮影/ 大沢 誠一)